

理想の家づくりのサポ

き合うようになった。 なかったとしても、「楽しかった、話がで きて良かったと思ってもらえる関係」を 客様の立場になって、その人の要望に向 作るべきだと。そこで、まずは自分がお 大きく変わった。たとえ、選んでもらえ その助言を聞いて、今までの認識が

ろぶ。

からも、さまざまなお客様の夢の実現に

にする」。常に、そう心掛けている。これ 「自分が担当したお客様は、必ず幸せ

向けて、「笑談」を積み重ねていく。

幸せをつくり出す

笑談で

聞き、満足してもらえるよう提案をし 現在は、営業部に所属し、住宅展示場に 訪れたお客様の住まいの悩みや要望を 施工・アフターフォローまで行うわが社。 県内を中心に、住宅の提案から販売

は、自社を選んでもらえないことに悩 で、「ここで働きたい」と強く思った。 人のいきいきとした姿が、とても魅力的 た、インターンシップ。そこで働いている 入社したきっかけは、大学時代に行っ 他社がひしめき合う中、入社当初

選ばれることが多くなった。「坂本さん かった」と言われると、思わず顔がほこ が担当だから決めました。出会えて良 た。お客様との対応を繰り返すうちに、 認識が変わると現実も変わり始め 504-0815

買ってもらう「笑談」が必要だ」と助言

をする「商談」ではなく、お客様に夢を

を受けた。

んでいた。そんな時に、上司から「取引



https://www.panahome-aigi.co.jp/

21